

「芸術の秋」に

副校長 中森 裕

5月20日の京都新聞の「凡語」に次のような文章が載っていました。「頭の上にちょこんと小鳥が乗った人物の彫像を、京都の公共空間で見かけたことはないだろうか。」この文章を目にしたとき、「ん？」と思わず首を傾げました。もしかしたら分校の玄関で出迎えてくれている彫像のこと？と気になり出勤後すぐに確認すると、そのとおり！「木代喜司（きしろ よしじ）」という方の作品でした。この方は、様々な学校や公共施設に彫像を寄贈されている彫刻家です。昭和54年に舞鶴養護学校が開校した際にいただいたようです。西校舎には、もう一つ彫刻があります。こちらは北吸分校に寄贈されたもののようです。校内で芸術鑑賞をしてみませんか。

花を生けよう

今年も、京都府文化の心次世代継承事業「学校・いけばな・出会いプロジェクト」として、池坊の山中知昌氏ら3名の講師を招き、行永分校の児童生徒が生花に挑戦しました。秋の花の美しさや香りを感じながら、花器に向き合い、生き生きとした作品が完成しました。



進路情報指導部より

7月30日(水)と8月4日(月)に実施しました『PTA共催 施設見学研修』に参加いただいた保護者の方の感想を紹介します。(一部抜粋)

- 今回、初めて施設内やグループホームの見学に参加させていただき、生活されている方々の一部ではあると思いますが、なんとなく雰囲気は感じることができました。また、このような研修があれば参加させていただきたいです。
- 今まで行永分校しか見ておらず、今回が初めての施設見学でしたが、違いが多く1回の見学では物足りないと思った。また、他の施設見学もしたいという想いと、もし、ここに子どもが入所するとなったら、どういう流れになるのかなど、知りたいことは多くあったので、次年度以降、可能であれば回数を増やして、より多くの施設見学や、意見交換をしたいと思った。
- 分からないことばかりで現実を見てたくさん考えさせられました。すごくいい機会で本当に勉強になりました。本人に一番合う環境で進路を決めていきたいので、また、教えていただきたいです。
- 施設見学会を開催してくださり、ありがとうございます。舞鶴こども療育センターで療育できるのが高校3年生までという期限が設定されているため、その先の未来に対し、常に不安な気持ちがあります。子どもが安心して生活していける場所を、自信をもって選択していくために、今回の見学会は大変参考になりました。
- 大変参考になり、ありがとうございます。是非、この施設見学研修を定例化していただきたいです。小学部、中学部、高等部の保護者の方の進路決定にはなくてはならないものだと思います。

10月の主な行事

3	金	遠足(青葉山ろく公園)
6	月	中学部校外学習(市役所・AM)
10	金	遠足予備日
13	月	スポーツの日(祝日)
16	木	学校祭保護者練習・参観・懇談会 13:05~
17	金	ゆきぶん集会
21	火	和太鼓ワークショップ
23	木	看護学生見学
27	月	振替休業日(学校祭 11月1日分)
28	火	学校祭作品展示(11月1日まで)

※10月16日(木)は、授業を参観していただく前に、学校祭の全校・PTA プログラムの練習を行います。保護者の皆様の参加をよろしくお願いします。

※予定は変更する場合があります。

〒625-0052 舞鶴市字行永 2510-17
TEL 0773-63-6700 FAX 0773-63-6701

Mail maizuru-yukinaga-s@kyoto-be.ne.jp
HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/maizuru-yukinaga-s/cms>

